**福崎町セミセルフレジシステム等導入に係る公募型プロポーザル審査要領**

　セミセルフレジシステム等導入に係る公募型プロポーザル審査は、事業者名を伏した提案書等を下記のとおり審査・評価するものとする。

１．審査の対象事業者

審査の対象事業者は次の（１）から（３）に掲げる条件をすべて満たし、一つでも満たない場合は審査の対象事業者に該当しないものとする。なお、参加申込書及び提案書等を提出したものが１者の場合でも本プロポーザル方式の審査は実施する。

（１）福崎町セミセルフレジシステム等導入業務公募型プロポーザル実施要領に基づく参加資格を有すること。

（２）提出した企画提案書等の各種書類のうち審査に使用する書類は、社名、社章、製品名等、事業者を特定させる文言等を使用していないこと。

２．審査の項目・配点

審査の項目及び配点は次のとおりとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 審査項目 | 配点 |
| （１）企画提案書及びプレゼンテーションに基づく評価 | 70 |
| （２）経費見積書による評価（価格評価） | 30 |
| 合　　計 | 100 |

３．審査方法

（１）企画提案書及びプレゼンテーションの評価方法（70点）

　　　審査員は、企画提案書及びプレゼンテーション内容を別表第１「企画提案書及びプレゼンテーションに基づく評価基準」に基づき各審査項目に対して評価点を付し、その合計点を合計評価点とする。各審査員の合計評価点が、審査対象事業者の企画提案書に基づく評価点とする。

　　　プレゼンテーション（20分以内）及び質疑応答（10分）とする。

　　　なお、次のいずれかに該当する場合は審査対象から除外する。

①参加者及び協力者が審査委員等関係者に対する不当な活動を行ったと認められる場合

②委員長の指示に従わない場合、プレゼンテーション審査に欠席もしくは遅刻した場合

（２）経費見積書による評価（価格評価）（30点）

経費見積書に関する評価点については、2,600,000円（税込）を上限額とし、下記の価格審査計算式から算出する。また、小数点以下第１位を四捨五入して算出する。1,300,000円（上限額の50%）以下は価格審査計算式によらず30点とする。

なお、この評価点は一律に算出するものとし、各審査員は算出された同じ評価点を用いるものとする。評価の対象とする金額は、導入費用（システム及び機器の購入費用、設置・設定作業費用を含む。）及び令和７年１１月１日から令和10年３月31日までの保守費用の合計額とする。

【価格審査計算式】

経費見積額－1,300,000円＝Ａ

(１－Ａ／1,300,000円)＝Ｂ

30点×Ｂ＝Ｃ(価格審査の評価点)

（例）経費見積額が2,200,000円の場合

2,200,000円－1,300,000円＝900,000円

（1－900,000円／1,300,000円）≒0.31（小数点以下第３位四捨五入）

30点×0.31≒9点（小数点以下四捨五入）価格審査の評価点

４．優先交渉権者の決定方法

選定委員会の審査結果を踏まえて、各委員の評価点の合計得点が最も高い参加者を最優秀者（契約交渉相手方）として決定し、次に合計得点が高いものを次点者とする。なお、合計得点が同点の場合は、提案書及びプレゼンテーションに基づく評価点の高い参加者を上位として選定する。合計得点及び提案書及びプレゼンテーションに基づく評価点がそれぞれ同点の場合は、経費見積書における見積金額合計額（税込）の低いほうを上位とする。合計得点及び提案書及びプレゼンテーションに基づく評価点、経費見積書における見積金額合計額（税込）がすべて同点（同額）で上位が決しない場合は、委員長の決するところとする。

最優秀者との契約が不調となった場合には、次点者と交渉を行う。

　　なお、参加事業者が１者のみの場合であっても、優先交渉権者に特定する。

　　ただし、合計点が100点×審査員7人×0.6＝420点に満たない場合は、優先交渉権者の決定を

行わない場合がある。

附　則

この要領は、令和７年７月３０日から施行する。

別表第１

企画提案書及びプレゼンテーションに基づく評価基準(70点)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項番 | 評価項目 | 評価視点 | 評価基準 | 配点 | 評価得点 |
| １ | 提案するセミセルフレジ及び自動釣銭機の特徴 | 提案システム・機器の特徴、優れている点、差別化できる点などアピールポイントが示されているか。 | 特に優れている | 10 |  |
| 優れている | 8 |
| 標準 | 5 |
| やや劣っている | 2 |
| 劣っている | 0 |
| ２ | 操作性 | 提案システム・機器は、町民はもとより職員にとっても分かりやすく、操作しやすいものであるか。 | 特に優れている | 10 |  |
| 優れている | 8 |
| 標準 | 5 |
| やや劣っている | 2 |
| 劣っている | 0 |
| ３ | キャッシュレス端末との連携 | 多様なキャッシュレス決済が利用可能なキャッシュレス端末と連携が可能か。 | 特に優れている | 5 |  |
| 優れている | 4 |
| 標準 | 2.5 |
| やや劣っている | 1 |
| 劣っている | 0 |
| ４ | 効率化 | 円滑な入金等の処理及び窓口業務における時間の短縮やミスの予防につながる機能を有し、業務全体の効率化が期待できるか。 | 特に優れている | 10 |  |
| 優れている | 8 |
| 標準 | 5 |
| やや劣っている | 2 |
| 劣っている | 0 |
| ５ | セキュリティ対策 | 提案システム・機器は、セキュリティ対策が十分施されたものであるか。 | 特に優れている | 5 |  |
| 優れている | 4 |
| 標準 | 2.5 |
| やや劣っている | 1 |
| 劣っている | 0 |
| ６ | 省スペース化 | 提案システム・機器は、省スペース化への工夫や提案が示されているか。 | 特に優れている | 5 |  |
| 優れている | 4 |
| 標準 | 2.5 |
| やや劣っている | 1 |
| 劣っている | 0 |
| 7 | 運用保守・  サポート体制 | 保守・運用上のサービスが本町にとって必要十分な内容であり、安定した業務を行うためのバックアップ体制、運用支援が期待できるか。障害が発生した際の復旧までの対応が迅速で、職員の運用負荷軽減に繋がる提案となっているか。 | 特に優れている | 10 |  |
| 優れている | 8 |
| 標準 | 5 |
| やや劣っている | 2 |
| 劣っている | 0 |
| ８ | 職員研修 | 職員研修の内容は、提案システム・機器の運用を円滑に開始するための操作手順等の理解や習得を促進できるような提案となっているか。 | 特に優れている | 5 |  |
| 優れている | 4 |
| 標準 | 2.5 |
| やや劣っている | 1 |
| 劣っている | 0 |
| ９ | 実績 | 提案システム・機器が過去５年以内において日本国内の地方公共団体において導入実績があるか。 | 特に優れている | 10 |  |
| 優れている | 8 |  |
| 標準 | 5 |  |
| やや劣っている | 2 |  |
| 劣っている | 0 |  |
| 合計評価点 | | | | 70点  満点 |  |